

一 学 会 録 事 一

1. 日本藻類学会第16回大会

1992年3月30日・31日の両日、東京水産大学講義棟において第16回大会を開催した。大会会長は三浦昭雄氏（東京水産大学）で、参加者は133名であった。講演は57題の一般講演（うち展示講演7題）および特別講演1題があった。

大会第1日目に同会場において総会を開催し、引き続き同大学生協食堂で約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は野崎久義氏（慶応高校）の司会により、三浦昭雄大会会長の挨拶、有賀祐勝学会長の乾杯の音頭で始まり、118名という多数の参加で、盛会裡に終了した。東京水産大学の本会関係者ならびに学生諸君には大会運営にあたっていろいろご協力頂き、厚くお礼申し上げます。

懇親会参加者

相沢賢一・秋岡英承・秋山 優・浅井紀子・鯨坂哲朗・阿部信一郎・阿部剛史・有賀祐勝・E. Lobo Alcayaga・飯田高明・飯泉 仁・庵谷 晃・石川依久子・石田健一郎・石原利章・出井雅彦・井上 勲・猪俣秀一・榎本幸人・M. Melkonian・恵良田眞由美・遠藤記子・大野正夫・大房 剛・大葉英雄・岡崎恵視・小河久朗・小倉久学・加崎英男・梶村光男・片山舒康・神谷充伸・香村真徳・川井浩史・川合正允・川嶋昭二・河地正伸・菊地則雄・喜田和四郎・北山太樹・木津さおり・清原正高・熊野 茂・桑野和可・高原隆明・小亀一弘・小亀安代・小林 弘・駒崎 健・今野敏徳・斉藤宗勝・坂西芳彦・G. V. Deshmukhe・清水晃・杉山篤志・須田彰一郎・瀬戸良三・高橋永治・館脇正和・田中次郎・千原光雄・当真 武・土井考爾・中嶋 泰・長島秀行・長嶋美香子・中原紘之・中山恭彦・中山 剛・鍋島靖信・二宮早由子・二羽恭介・野崎久義・能登谷正浩・萩原富司・畠山典子・畠中芳郎・馬場将輔・濱田 仁・林田文郎・原 慶明・半田信司・坂東忠司・Patricia L. G. Kodaka・広部真理子・樋渡武彦・福永公平・藤井哲也・藤田隆夫・藤田大介・舟橋説住・堀口健雄・堀 輝三・本多大輔・馬 家海・前川行幸・正置富太郎・増田道夫・真山茂樹・松尾雅志・松本正喜・松山和世・丸山 晃・三浦昭雄・御園生 拓・宮村新一・宮地和幸・村瀬 昇・本村泰三・山岸高旺・山田家正・山本鎔子・横浜康継・吉崎

誠・吉田忠生・吉田智成・吉永一男・渡辺 信。

2. 編集委員会・評議員会

第16回大会の前日、3月29日に東京水産大学資源育成学科会議室において編集委員会および評議員会を開催した。評議員会では1992年度総会に提出する報告事項・議題などの審議を行った。審議の内容については総会の項を参照されたい。

編集委員会出席者：有賀祐勝、井上 勲、石川依久子、大野正夫、館脇正和、渡辺 信、原 慶明、岡崎恵視、千原光雄、小林 弘、横浜康継、吉田忠生、真山茂樹。

評議員会出席者：有賀祐勝、榎本幸人、井上 勲、石川依久子、香村真徳、喜田和四郎、増田道夫、中原紘之、大野正夫、館脇正和、月館潤一、渡辺 信、原 慶明、岡崎恵視、千原光雄、小林 弘、横浜康継、吉田忠生、能登谷正浩、庵谷 晃。

3. 1992年度総会

1992年3月30日（大会第1日目）の講演終了後、東京水産大学講義棟において総会を開催した。有賀祐勝学会長の挨拶に続いて、小林 弘氏を議長に選出して議事に入った。

I. 報告事項

1. 庶務関係

(1)会員状況（1992年3月現在）：名誉会員3名、普通会员員544名、学生会員52名、団体会員45名、賛助会員11名、外国会員101名、講読52件、寄贈・交換27件。(2)1991年度文部省科学研究費刊行助成金「研究成果公開促進費」交付額は970千円で、責任頁は360頁であった。なお、1992年度については補助要求額2,722千円、責任頁360頁を申請した。(3)1991年度秋季シンポジウムを1991年9月8日～11日に筑波大学で第2回日韓藻類学シンポジウムとして開催した（藻類39巻4号参照）。(4)第16回大会前（3月28日～29日）にワークショップ（海苔栽培業見学会、世話人三浦昭雄氏）が行われた。(5)第1回日本藻類学会賞は前川行幸・喜田和四郎の両氏に授与されることになった。対象論文は39巻2号掲載の、Distributional pattern of *Ecklonia cava* (Phaeophyta) marine forest in the coast of Shima Peninsula, central Japan である。

2. 会計関係

(1)12月31日現在の1991年度の会費納入率は、普通会员91%、学生会員84%、賛助会員73%、団体会員61%、外国会員42%である。(2)1991年度一般会計と山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算は、片山舒康(東京学芸大学)、市村輝宜(東京大学)の両会計監事により1992年3月6日監査が行われ、適正であると承認された。

3. 編集関係

(1)1991年度に発行した「藻類」第39巻第1～4号は、総頁数419頁、掲載論文数34編(内、英論文29編、和論文5編)、短報13編(内、英短報9編、和短報4編)、総説1編、雑録24編であった。頁当たりの平均経費は10,996円であった。掲載論文の超過頁は17頁であった。

(2)1992年3月10日に発行した第40巻第1号は、掲載論文数5編(内、英論文4編、和論文1編)、短報4編(内、英短報3編、和短報1編)、総説0編、雑録6編で、110頁であった。

(3)1991年3月29日現在の投稿論文数は受理済み5編、却下5編、著者改訂依頼中15編、審査中13編である。

II. 審議事項

1. 庶務関係

以下のことが審議され、承認された。(1)「藻類」第40巻第1～4号を発行する。(2)秋季シンポジウムを日本植物学会大会関連集会として、中原紘之氏を窓口計画を進める。(3)日本藻類学会第17回大会を東海大学海洋学部で、同学部所属の会員のお世話で開催してもらうよう計画を進める。

2. 会計関係

(1)1991年度一般会計の決算報告および同監査報告は表-1のとおり承認された。(2)1991年度山田幸男博士記念事業特別会計の決算報告および同監査報告は表-2のとおり承認された。(3)1992年度一般会計および山田幸男博士記念事業特別会計の予算は表-3のとおり承認された。

3. 編集関係

短報の制限頁数を3頁から4頁に変更することが承認された。

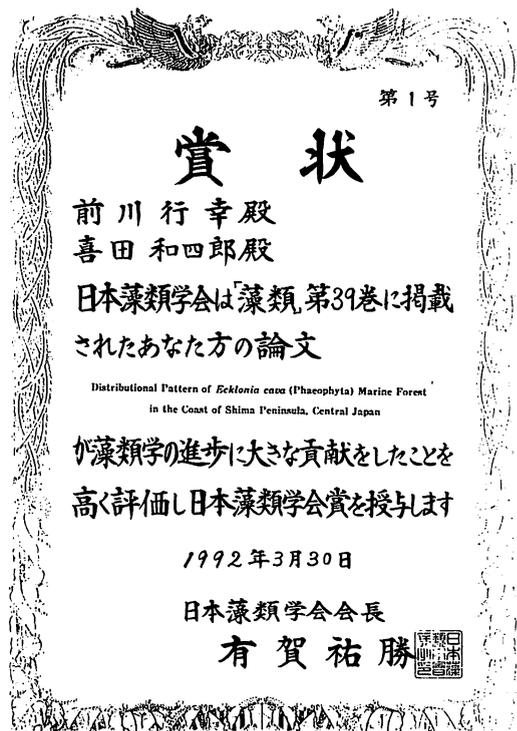
4. その他

(1)井上 勲、渡辺 信両評議員から提案された学会誌の改革について、石川編集委員長を世話人にワーキンググループを作り、その可能性や問題点を検討することになった。(2)高校までの理科教育における藻類の

取扱について、東京学芸大学所属の会員に問題点を整理して貰うことになった。

III. 学会賞の授与

本学会則第13条および日本藻類学会賞受賞者選考内規に基づいて受賞者の選考が行われ、3月30日の総会において次のような体裁の日本藻類学会賞(第1号)が前川行幸、喜田和四郎両氏に授与された。



4. 日本藻類学会第16回大会ワークショップ(海苔栽培業見学会)報告

1992年3月27日～28日に上記ワークショップを開催した。三浦昭雄氏を世話人に、16名の会員が参加した。なお、見学会の内容は参加記を参照されたい。

ワークショップの開催にあたってお世話になった天羽漁業協同組合湊のり生産組合・新富津漁業協同組合・千葉県水産試験場富津分場・千葉県のり種苗センター・千葉県東京湾栽培漁業センターにお礼申し上げます。

表-1 1991年度 一般会計決算報告 (91.1.1-91.12.31)

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	5,909,035	印刷費	5,339,878
〔普通会員	4,083,000〕	〔印刷代	4,607,190〕
〔学生会員	260,000〕	〔別刷代	732,688〕
〔外国会員	534,035〕	編集費	383,294
〔団体会員	792,000〕	〔英文校閲料	100,000〕
〔賛助会員	240,000〕	〔編集補助費	50,000〕
販売	976,770	〔通信連絡費	209,012〕
〔定期購読	826,000〕	〔事務用品費	24,282〕
〔バックナンバー	150,770〕	会誌発送費	363,309
別刷代	740,410	庶務費	701,853
超過頁負担金	204,000	〔事務用品費	1,278〕
広告代	180,000	〔会議費	38,000〕
受取利息	132,107	〔通信・印刷費	249,906〕
プログラム代	51,510	〔事務整理補助費	0〕
文部省刊行助成金	970,000	〔幹事旅費補助	25,940〕
雑収入	15,429	〔幹事手当	160,000〕
		〔諸雑費	226,729〕
		事務業務委託費	1,483,200
		第15回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	9,179,261	小計	8,441,534
前年度繰越金	5,161,607	次年度繰越金	5,899,334
合計	14,340,868	合計	14,340,868

貸借対照表 (91.12.31 現在)

借方 (円)	貸方 (円)	
定期預金 (第一勧業銀行)	1,000,000	
普通預金 (第一勧業銀行)	2,520,633	
普通預金 (住友銀行)	100,596	
普通預金 (山梨中央銀行)	21,108	
郵便振替貯金	1,248,566	
小口現金	253,737	
〔事務局	187,037〕	
〔本部	66,700〕	
受取小切手	76,159	
カード	58,330	
〔UCカード	36,430〕	
〔アメリカンエキスプレス	21,900〕	
未収金	1,709,050	
仮払金	120,000	
未払金	137,845	
	前受会費	1,071,000
	前期繰越金	5,161,607
	当期剰余金	737,727
	次期繰越金	5,899,334
合計	7,108,179	

1992年3月6日

本会計決算報告は適正である事を認める。

1992年3月6日

日本藻類学会会長 有賀 祐勝 ㊟

日本藻類学会会計幹事 能登谷 正浩 ㊟

日本藻類学会会計監事 片山 舒康 ㊟

日本藻類学会会計監事 市村 輝宜 ㊟

表-2 1991年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算 (91.1.1-91.12.31)

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
山田追悼号売上金	7,000		
論文集「コンブ類」売上金	3,000		
(内 未収金	1,000)		
日米セミナー売上金	4,000		
受取利息	79,073		
小 計	93,073	小 計	0
前年度繰越金	2,096,470	次年度繰越金	2,189,543
合 計	2,189,543	合 計	2,189,543

貸借対照表 (91.12.31現在)

借 方 (円)		貸 方 (円)	
定期預金 (住友銀行)	1,900,000	前期繰越金	2,096,470
普通預金 (住友銀行)	252,543	当期剰余金	93,073
現金	23,000		
郵便振替貯金	12,000	次期繰越金	2,189,543
受取小切手	1,000		
未収金	1,000		
合 計	2,189,543	合 計	2,189,543

1992年3月6日

日本藻類学会会長 有賀 祐勝 ㊤

日本藻類学会会計幹事 能登谷 正浩 ㊤

本会計決算報告は適正である事を認める。

1992年3月6日

日本藻類学会会計監事 片山 舒康 ㊤

日本藻類学会会計監事 市村 輝宜 ㊤

1992年4月15日

日本藻類学会第16回大会決算報告

収 入 (円)		支 出 (円)	
大会参加費	4,000×119人=476,000	人件費 (アルバイト賃・謝金)	436,000
普通会員	3,000×14人=42,000	プログラム印刷費 (150部)	36,560
学生会員	3,000×118人=354,000	会場賃貸料 (4部屋×2日)	25,915
懇親会費	120,000	消耗品費 (文具・木材等)	76,932
大会補助費		休憩室お茶代	15,476
		懇親会費	360,485
		会議費	35,706
		通信費	4,926
合 計	992,000	合 計	992,000

表-3 1992年度 一般会計予算

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,669,050	印刷費	4,949,000
普通会員	3,213,000	印刷代(360頁)	4,160,000
学生会員	216,750	別刷代	789,000
外国会員	583,100	編集費	407,000
団体会員	469,200	英文校閲料	100,000
賛助会員	187,000	編集補助費	50,000
販売	756,000	通信連絡費	222,000
定期購読	656,000	事務用品費	35,000
バックナンバー	100,000	会誌発送費	318,000
別刷代	600,000	庶務費	860,100
超過頁負担金	200,000	事務用品費	20,000
広告代	180,000	会議費	60,000
受取利息	100,000	通信・印刷費	467,100
プログラム代	30,000	事務整理補助費	0
文部省刊行助成金	970,000	諸雑費	100,000
雑収入	20,000	幹事旅費補助	53,000
		幹事手当	160,000
		学会業務委託費	1,483,000
		第16回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	7,525,050	小計	8,187,100
前年度繰越金	5,899,334	予備費	5,237,284
合計	13,424,384	合計	13,424,384

1991年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
山田追悼号売上金	7,000	学会費	10,000
論文集「コンプ類」売上金	1,000		
日米セミナー売上金	4,000		
受取利息	79,073		
小計	91,073	小計	10,000
前年度繰越金	2,189,543	予備日	2,270,616
合計	2,280,616	合計	2,280,616

— 会 員 移 動 —

新 入 会

住 所 變 更

訃 報

本会会員 日出武敏氏は去る1991年5月2日逝去されました。

本会設立発起人 殖田三郎氏は去る1992年3月30日逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。 日本藻類学会

退 会

西田一豊（兵庫県）